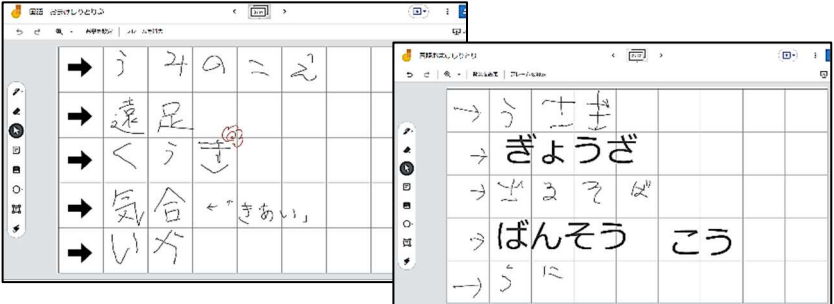


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

文字を丁寧に書くための ICT 活用 「Jamboard しりとり」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部3年（重複障がい学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> 文字や文章を書くことは好きであるが、紙に文字を書く際、字形や大きさ、行などを整えて書くことが難しい。また、片麻痺のため、消しゴムできれいに消して訂正することが難しい。 促音や長音など、言葉のつづりを間違えることがある。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	国語
	単元(題材)名	単元名「しりとりゲーム」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> Jamboard を使ったしりとりゲームをしながら、字形を整え、正しいつづりで言葉を書くとともに、様々な言葉に触れることで語彙を増やす。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> 教師と1対1のしりとりゲーム。 文字はタッチペンを使用して書く。 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○字形が整わなかったり、つづりを間違えたりしたときは、きれいに消して訂正するようにすることで、丁寧に文字を書く意識を育てる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> マス目は背景に設定し、書字に干渉しないようにする。 慣れてきたらマス目を小さくする。 文字のとめ・はね等、字形を整えるポイントを指導する際は、赤字で手本を示しながら口頭で説明を行う。 描画ツールを用いて、書いた文字が認識されるかどうかで、他者に読み取れる文字かどうかを確かめることも可能である。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（Jamboard）、タッチペン
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> 字形が整わない場合に自分で気付いて訂正したり、文字のとめ・はね等を意識したり、字形を整えながら文字を書く意識が感じられるようになった。 以前よりも文字をゆっくりと丁寧に書くようになった。 	